

プリント回路・実装

インタビュー

名屋 精一氏
代表取締役社長
株式会社エム・ディー・システムズ



プリント配線板の設計専
業企業である株式会社エム・ディー・システムズ(神奈川県厚木市中町3-6-13)は、国内トップクラスの

名屋 精一氏

基板設計のプロ集団

のグループを自認する名屋 精一社長に足元の事業展開などを聞いた。

国内のCADセンターは本社と大阪、浜松に拠点を置いている。郡山(福島県)と本庄(埼玉県)には分室も開設している。

また、超短期納期設計や製造の検証まで要求されるようになり、当社では豊富なマンパワーと海外との協働設計といったシステムを組み合わせ、顧客に最適な設計を提供している。

現在80人のスタッフが、数年前から急激に100人体制まで引き上げている。特定の顧客に頼らず、バランスを重視してリスク分散を図っている。

発足当初は旧名電電子リピーターであったが、価格が下がっていったので、常に新規受注を拡大するようになっている。

顧客から常に信頼されるパターン設計のプロ集団でありたい。当社は80層クラスの高層多層基板のパターン設計も受注できる。

顧客から常に信頼されるパターン設計のプロ集団でありたい。当社は80層クラスの高層多層基板のパターン設計も受注できる。

最近ではインターネットを通じて基板設計の受注を始めています。顧客層を広げるうえで、ネット通販会社のネットワークキーバン(Www.max-keyban.co.jp)と提携している。500万円程度の設計事例では9万円と、低コストで最短3日の納期提供が可能になる。顧客の様々なニーズに添って、このが当社の使命だと思

8年に名電電子工業(現エム・ディー)によって設立された基板のパターン設計の専業会社である。その後、私を中心になり、名電電子工業の設計や日立製作所の基板設計部門の元外注企業と事業統合して本格的にスタートした。従業員も増えたので現在の住所に本社を移転した。従業員は海外も含

め約150人いる。国内のCADセンターは本社と大阪、浜松に拠点を置いている。郡山(福島県)と本庄(埼玉県)には分室も開設している。

2001年に設立したが、エンジニアたちはとても優秀で、会社への帰属意識も高い。経験年数も10年を超える事例が全体の半分に及んでいる。ビルドアップ基板などHDIや16層以上の多層基板のパターン設計も可能だ。

順次増員を行い、早急に対応できる体制まで引き上げている。特定の顧客に頼らず、バランスを重視してリスク分散を図っている。

足元のビジネス環境を教える。名屋 堅調に推移している。年商は例年5~8%成長を達成してきている。18年度19年3月期は8%成長と増収を見込んでいる。

最近では車載や産業機器、医療機器など幅広い分野で少量多品種の基板パターン設計の受注が拡大している。特に半導体製造装置や検査装置などの事例が増加している。月平均で200万円

顧客から常に信頼されるパターン設計のプロ集団でありたい。当社は80層クラスの高層多層基板のパターン設計も受注できる。

顧客から常に信頼されるパターン設計のプロ集団でありたい。当社は80層クラスの高層多層基板のパターン設計も受注できる。

顧客から常に信頼されるパターン設計のプロ集団でありたい。当社は80層クラスの高層多層基板のパターン設計も受注できる。

高信頼性武器に成長加速

名屋 大手のシステム・セット企業は、プリント配線板などのパターン設計をさらけ出さない戦略だ。CADの資格制度を社内に入れて、常にレベルの向上を図っている。フィリピンで(聞き手・副編集長 野村和巳)

名屋 大手のシステム・セット企業は、プリント配線板などのパターン設計をさらけ出さない戦略だ。CADの資格制度を社内に入れて、常にレベルの向上を図っている。フィリピンで(聞き手・副編集長 野村和巳)

名屋 大手のシステム・セット企業は、プリント配線板などのパターン設計をさらけ出さない戦略だ。CADの資格制度を社内に入れて、常にレベルの向上を図っている。フィリピンで(聞き手・副編集長 野村和巳)